

# 水中バックホウ

水中バックホウとは陸上の多くの整地・掘削作業に用いるバックホウをベースマシンとして、水中環境で稼働出来るように改造した機械です。水中バックホウは様々な所で紹介されていますが、当社は自社で開発、改造から、施工までを一貫して行っております。それに併せて多数の水中用アタッチメントも開発し、様々な作業に対応できる体制を整えています。

陸上機と水中バックホウとの一番の大きな違いは、ディーゼルエンジンの代わりに水中モーター（AC440V）で動力源となる油圧ポンプを動かし、水中で動く事を可能にした事です。（その他の機械構造も水中で使用できる耐圧構造等に改造しています。）

水中バックホウの操縦はダイバーが直接水中で行い、電源の「入・切」やケーブルの繰り出し巻取りなどは船上（陸上）に配置した支援員が行います。

現在、水中バックホウの機械耐水深は、-50mまで施工可能で、ダイバーの目視確認により陸上バックホウと同等の精度で施工を行う事が出来ます。

ICT技術を用いた無人化施工により、安全性と作業効率の向上を図ることが出来ます。

